

■司馬遼太郎（歴史）小説家。独自の『司馬史観』で、＜高度成長＞期以降、圧倒的な人気を保った。

しばりょうたろう

関東大震災・1923＝ 大阪市浪速区の薬剤師の家に生れた。乳児脚気のため、

円本時代始・1926＝ 3歳：この年まで母の郷里に近い奈良県今市に預けられた。

海軍軍縮条約1930＝ 7歳：大阪の小学校に入学。

満州事変・・1931＝ 8歳：

五一五事件・1932＝ 9歳：近所の日本最古の官道竹ノ内街道で遊んだり、母の郷里近く古墳などで土器のカケラなどを集める。

二二六事件・1936＝13歳：私立上宮中学校に入学。

日中戦争始・1937＝14歳：

健保+総動員 1938＝15歳：この頃、井伏鱒二の作品を読んで、強い影響を受け、市立図書館にも通い始める。

日米開戦・・1941＝18歳：大阪外国語学校の蒙古語部に入学。

創価学会検挙1943＝20歳：仮卒業で学徒出陣し、

年金+総武装 1944＝21歳：満州に渡り、陸軍戦車学校に入学。大阪外事専門学校（現大阪外語大学）の蒙古科を卒業。小隊長となり、

敗戦・・・1945＝22歳：本土決戦にそなえて、帰国。栃木県佐野で敗戦を迎え、母の実家に復員。

新憲法公布・1946＝23歳：京都の新日本新聞社に入社。

極東裁判決・1948＝25歳：産経新聞社に入り、京都支局で大学・宗教を担当。

朝鮮戦争始・1950＝27歳：金閣寺焼失の記事を書く。

独立回復・・1951＝28歳：

マーデー事件・1952＝29歳：大阪本社地方部に転勤。

TV放送始・・1953＝30歳：文化部勤務となり、文学・美術を担当。

55年体制始・1955＝32歳：本名で「名言随筆・サラリーマン」を刊行後、歴史小説に手を染め、

国連加盟・・1956＝33歳：*「ペルシャの幻術師」で講談倶楽部賞。司馬遼太郎の筆名を用い出す。

なべ底不況・1957＝34歳：胡桃沢耕史らと『近代説話』を創刊。以後、諸誌紙に作品を次々と発表して行く。

インスタントメン・1958＝35歳：司馬遼太郎としての処女出版「白い歓喜天」。以後、単行本も次々発刊。

美智子妃・・1959＝36歳：文化部記者の松見みどりと結婚。

安保闘争・・1960＝37歳：*「島の城」で第42回直木賞を受賞。

タイタイ病始・1961＝38歳：出版局次長で退社し、作家業に専念。次第に本格的歴史小説の分野に進む。

年間、雑誌連載が20本以上、数冊の単行本を発刊するという多作ぶりで、

大学紛争始・1965＝42歳：「司馬遼太郎選集」全6巻。

いざなぎ景気1966＝43歳：*「龍馬がゆく」「国盗り物語」で菊池寛賞を受賞、歴史作家の地位を確立。以後、変革・動乱期の人間像を生々と描いた作品群により、数多くのファンを獲得。文明に関する評論・エッセイも多い。

美濃部都知事1967＝44歳：大阪芸術賞。

震ヶ関バトル・1968＝45歳：「殉死」で毎日芸術賞。「龍馬がゆく」がベストセラーになり、NHKの大河ドラマとして放送。

全共闘バーク・1969＝46歳：「歴史を紀行する」で文芸春秋読者賞。この間、各社から毎年のように「司馬遼太郎集」も刊行される。

ドルショック・・1971＝48歳：韓国旅行。「週刊朝日」で「街道を行く」が連載開始、以後没するまで25年の長期連載となる。

日中国交回復1972＝49歳：ヨーロッパを回る。「坂の上の雲」がベストセラー。「世に棲む日日」などで吉川英治文学賞。

石油ショック1973＝50歳：ベトナム、モンゴル旅行。「国盗り物語」がベストセラー、NHKの大河ドラマで放送。

クアンプール事件1975＝52歳：中国旅行。「播磨灘物語」がベストセラー。

田中角栄逮捕1976＝53歳：オーストラリア旅行。「空海の風景」などで日本芸術院賞恩賜賞。「翔ぶが如く」がベストセラー。

JALハイジャック・1977＝54歳：中国旅行。NHK大河ドラマで「花神」を放送。

革新大敗北・1979＝56歳：中国旅行。「胡蝶の夢」。

貿易摩擦問題1980＝57歳：中国旅行。「項羽と劉邦」がベストセラー。

・・・・・1981＝58歳：中国旅行。芸術院会員となる。

中曽根内閣・1982＝59歳：スペイン・ポルトガル旅行。「ひとびとの聲音」で読売文学賞。

ドイツノラント・1983＝60歳：韓国旅行。「歴史小説の革新で朝日賞」。

・・・・・1984＝61歳：「箱根の坂」。中国、アメリカ旅行。「街道を行く・南蛮のみち」で第一回新潮日本文学大賞学芸賞。

ジャンボ機墜落1985＝62歳：アメリカ、韓国旅行。

バブル始・・1986＝63歳：テレビ番組シルクロードの企画などでNHK放送文化賞。

竹下内閣・・1987＝64歳：アイルランド旅行。「ロシアについて」で読売文学賞。

リクルート事件・1988＝65歳：「坂の上の雲」などで明治村賞。「韃靼疾風録」で大仏次郎賞。

ドイツ統一・・1990＝67歳：ロンドン大学訪問。NHKの大河ドラマで「翔ぶが如く」を放送。「この国のかたち」を没するまで連載。

ソ連崩壊・1991＝68歳：日本中国文化交流協会の代表理事。「文化功労者」。

バブル崩壊・1992＝69歳：コロンビア大学を訪問。

55年体制終・1993＝70歳：文化勲章。

自社さ連立・1994＝71歳：李登輝総統と対談のため、台湾訪問。

オウム事件・1995＝72歳：

・・・・・1996＝73歳：腹部大動脈瘤破裂のため、没した。

朝日出版「司馬遼太郎の世紀」、「この人どんな人」、「目でみる日本人物百科」、